

2021年3月15日

## 「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」について

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が、2021年2月23日に新型コロナウイルスに関連したQ&Aの更新版を公開しています。

これらをもとに、JADAは国内事情をふまえ、日本版の「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」を別紙の通り、更新し、公開します。

- 新型コロナウイルス ; アスリートQ&A (COVID-19: Athlete Q&A) (2021年2月23日)  
[https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/20210223\\_updated\\_covid-19\\_qa\\_for\\_athletes\\_en.pdf](https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/20210223_updated_covid-19_qa_for_athletes_en.pdf)
- COVID-19-ADO GUIDANCE (2020年3月20日)  
<https://www.wada-ama.org/en/resources/world-anti-doping-program/covid-19-ado-guidance>
- GUIDANCE FOR TESTING DURING COVID-19 PANDEMIC (2020年11月25日)  
<https://www.wada-ama.org/en/resources/doping-control-process/guidance-for-testing-during-covid-19-pandemic>
- COVID-19: ADO GUIDANCE FOR REMOTE EDUCATION PROGRAMS (2020年6月5日)  
<https://www.wada-ama.org/en/resources/general-anti-doping-information/covid-19-ado-guidance-for-remote-education-programs>

東京2020大会に向け、クリーンスポーツに参加するアスリートの権利と、ドーピングのないクリーンでフェアなスポーツの環境を守るため、JADAは、今後も国内外の関係機関との連携のもとアンチ・ドーピング活動を推進していきます。

日本アンチ・ドーピング機構

## 「アンチ・ドーピングにおける新型コロナウイルス対応に関するQ&A」

2021年3月15日

**1. 不要不急の外出自粛等の制限がありますが、新型コロナウイルスが世界的大流行の中、JADAでは引き続きドーピング検査を行いますか？**

はい。日本政府、地方自治体等によって移動制限等の制限がない場合、ドーピング検査はいつでもどこでも行われる可能性があります。

**2. ドーピング検査を受ける場合、感染の可能性を最小限に抑えるためにJADAではどのような対策を行っていますか？**

ドーピング検査を実施する場合、JADAは厚生労働省からの「新型コロナウイルス感染症対策基本方針」及びWADAが発行している「新型コロナウイルス アンチ・ドーピング機関ガイドンス」に基づき、アスリートとドーピング検査員の健康と安全を保護するための対策を講じています。具体的な対策は、次の「3」を確認ください。

**3. 感染の可能性を最小限に抑えるために、JADAではどのような具体的な措置をとるのでしょうか？**

JADAでは、現在新型コロナウイルスの影響を勘案し、「検査及びドーピング調査に関する国際基準」に加え、WADAのガイドンスに従って、検査を実施しています。具体的には、以下の通りです。

＜競技会外検査＞

- ・ドーピング検査員は新しいマスク・手袋およびフェイスシールドを着用し、手指消毒・手洗いを徹底したうえで、検査を行います。
- ・アスリートにも新しいマスク・手袋・手指消毒液を提供し、検査員からマスクと手袋の着脱方法、手指消毒の説明を行います。
- ・検査員の人数は可能な限り少人数で行うこととしています。さらに、ドーピング検査員は、アスリートと可能な限り距離を取って検査を実施します。

＜競技会検査＞

- ・競技会外検査と同様の対応を行います。
- ・ドーピング検査室の換気や、密を避けるための取り組みを徹底して行います。
  - ※検査室への同伴者の入室を制限することはありません
  - ※国内競技連盟の皆様におかれましては、三密を避けた形での検査場所確保のご協力をお願い致します。
  - ※両検査に共通して、「検査員の健康管理」につきましては、次の「4」をご参照ください。

上記対策を講じることにより、通常の検査より少し時間がかかることがあります。  
また、検査の現場における新型コロナウイルス対策について、少しでも不安なこと、気になることがあれば、検査員に確認をしてください。

#### 4. 検査員の健康管理

検査員の健康管理につきましては、以下の対応を行っています。

- ・ 定期的なPCR検査の受検
- ・ 毎日（起床時）の検温と記録

また、対応する検査当日、検査員は検温（起床時）にて37.5℃未満、鼻、のどの風邪の症状がないことを確認し、自身の健康状態に問題がないことを誓約する書面をJADAに提出します。

#### 5. アスリート自身に新型コロナウイルスと疑われる症状が出た場合はどうすればよいですか？

まずは、ご自身の健康と周りの方々の健康を優先してください。ウイルスの感染が疑われる場合には、保健所に連絡して、適切な対応を確認してください。

また、ドーピング検査員が検査の通告をした際には、以下の確認をさせていただきますので、該当する場合には真摯に検査員にその旨申告ください。

- （1）あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染していますか？
- （2）あなたは、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状（発熱、咳等）がありますか？
- （3）新型コロナウイルス感染症に感染している人又は感染を疑われている人と同居していますか？

※ 虚偽の情報を提供した場合、最大4年間の制裁措置となるアンチ・ドーピング規則違反と見なされる可能性がありますので、正直に回答してください。

#### 6. アスリート自身が新型コロナウイルス陽性だった（もしくは疑い）時のJADAへの連絡先

- ・ 自身が所属する国内競技連盟あるいは、JADAへ速やかに連絡をお願い致します（連絡先：testing@playtruejapan.org）。国内競技連盟の皆様におかれましては、アスリートより同報告を受けた時は、速やかにJADAへの連絡をお願い致します。
- ・ 検査員が検査対応後に新型コロナウイルスに感染したことが明らかになった場合は、速やかにJADAに報告が入りますので、JADAは、直ちに国内競技連盟および、14日以内に当該検査員が対応したアスリートの皆様へ連絡致します。

**7. 世界的な新型コロナウイルスの影響でドーピング検査が減少している状況の中、今後ドーピングのないクリーンで公平な環境で競技をしていると安心できるのでしょうか？**

新型コロナウイルスの影響が緩和された際には、WADA推奨の元、クリーンでフェアな競争が確保できるよう追加でドーピング検査を行っていきます。

**8. 居場所情報について**

**8-1. 居場所情報を提出し続ける必要はありますか？**

はい。ドーピング検査に影響を与える感染が疑われる症状やその心配がある場合には、居場所情報提出先であるJADAまたは国際競技団体（IF）へお知らせください。

**8-2. 海外から帰国した際の待機期間中の居場所情報の提出で、追加で対応することはありますか？**

通常と同じように居場所情報を提出したうえで、以下対応ください。

「60分時間枠」の備考欄に「海外帰国後待機期間」を記載  
 （記載例）「海外帰国後待機期間 ●月○日～◆月◇」

**9. 病気やケガの治療のため禁止物質または禁止方法を必要とする病状がある場合、治療使用特例（TUE）申請は必要ですか？**

申請が必要です。国際競技連盟から指定されているアスリートの場合は、同連盟に確認ください。それ以外のアスリートは、原則としてJADA TUE委員会へ申請します。JADA WEBサイトに

（<https://www.realchampion.jp/process/tue>）記載されているフローチャートを確認の上、自分が事前にTUE申請が必要なアスリートカテゴリーに属しているかチェックしてください。

新型コロナウイルスの影響で医師からTUE申請に必要な書類を入手することが困難な場合は、JADAへ問合わせください。

**10. 自宅待機中、またはドーピング検査員が適切な予防措置を講じていないと感じた場合、ドーピング検査を拒否できますか？**

拒否できません。強制的な隔離やロックダウン（都市封鎖）がない限り、ドーピング検査を受けてください。ドーピング検査を拒否した場合、または通告後に検体採取手順を完了しなかった場合は、検査拒否と見なされます。

ドーピング検査の手順を支援するために同伴者が必要なアスリートにおいて（特に、障がいのあるアスリートまたは18歳未満の場合）、新型コロナウイルス感染拡大の影響により同伴者を伴えない場合は、その旨をドーピング検査員に申告してください。

## 11.新型コロナウイルスのワクチンを接種すべきでしょうか？または（接種したことにより）ドーピング検査で陽性反応となる可能性はありますか？

<WADAアスリートQ&A 原文>

Should I take a COVID-19 vaccine or are there concerns that it may cause a positive doping test?

- For your own health, for the health of those around you and for the population at large, vaccines against COVID-19 are highly recommended. COVID-19 vaccines are not known to contain any Substance or Method on the Prohibited List or to interfere with anti-doping analysis. WADA continues to closely monitor the situation and the Agency would broadly communicate should this opinion change.

（WADA原文のJADA訳）

あなた自身の健康のためにも、あなたの周囲の人々、さらに一般市民の健康のためにも新型コロナウイルスに対するワクチンは強く推奨されている。新型コロナウイルスのワクチンが、禁止表国際基準に記載されている禁止物質、禁止方法を含んでいること、およびアンチ・ドーピングにおける検体分析に影響をもたらすことは報告されていない。WADAは引き続き状況を注視し、見解に変更が生じた際は、広く情報発信する予定でいる。

（JADA追記）

新型コロナウイルスのワクチンを接種した際の記録（いつ、どこでワクチンを接種したか）を保存するようにしてください。

## 12.新型コロナウイルスのワクチンの接種によって、パフォーマンスに影響を受けることがありますか？

<WADAアスリートQ&A 原文>

Can taking a COVID-19 vaccine affect my performance as an athlete?

- Any vaccination can create a temporary physiological reaction accompanied with symptoms (e.g. fever, pain at the injection site) but there is no evidence that the vaccines approved to date would create any sustained performance decrease. It should be noted that, there is some evidence that COVID-19 may cause prolonged or lingering health issues in a small percentage of those infected, including in young adults.

（WADA原文のJADA訳）

どのようなワクチンを接種しても、症状（例えば、発熱や注射部位の痛み）を伴う生理的反応を一時的に起こすことがあるが、今日までに承認されたワクチンが持続的にパフォーマンスの低下をもたらすという証拠はない。ただし、若年者を含め、感染者のごく一部においては、新型コロナウイルス感染症によって長期的な健康上の問題または、健康上の問題がなかなか消えない状態が発生する可能性があるといういくつかの証拠があることには留意するべきである。

このような状況においては、アスリートの皆さんが自らアンチ・ドーピングに関する最新の情報を取得し、またチームメンバーなどにも積極的に展開・発信することは、クリーンでフェアな環境を護るアンチ・ドーピング活動への貢献となります。JADAのWEBサイト (<https://www.playtruejapan.org/>)、アスリートサイト (<https://www.realchampion.jp/>) では、最新のアンチ・ドーピングに関する情報提供をおこなっていますのでご活用ください。